

第3回 東京湾沿岸海岸保全基本計画 (内湾・内房)に係る検討会

「(前回)第2回検討会での意見および対応」

令和6年8月7日

千葉県

第2回検討会(R5.3.16)での意見および今後の対応

高潮に対する防護高について意見がありました。

No	発言者	ご意見	回答・対応方針
1	A委員	・今後の検討課題の一つとして高潮のときの浸水域の表示も検討する必要があるのではないか。	(検討会での回答) ・高潮浸水想定区域の検討は別途検討予定であり、本検討会では議事の対象外としている。 (対応方針) ・別紙1にて説明
2	B委員	・高潮の場合は、一旦堤防を越流してしまうと時間スケールが非常に長いため、陸上の奥深くまで浸水してしまう危険性、影響力の大きさをもっている。表示の仕方、示す情報を工夫して分かりやすく情報を出す必要がある。	

第2回検討会(R5.3.16)での意見および今後の対応

No	発言者	ご意見	回答・対応方針
3	C委員	<p>・現行計画と今回検討で、計画高潮位の差が市原市の区間で非常に大きくなっている。この検討結果が一般に公表された場合に、市原市の海岸が非常に危険だという扱いになると思われるがどういった理由になるのか。</p>	<p>(検討会での回答)</p> <p>・市原市域で計画高潮位の現行計画との差が1.4m生じた理由の一つにシミュレーション精度の向上が考えられ、現行計画では270m間隔の格子でシミュレーションを行ったが、今回検討では10m間隔の格子で行っている。</p>
4	D委員	<p>・シミュレーション精度も理由の一つだと思うが、計算結果の詳細な検討や、なぜそうなったのか県民の方が分かりやすく理解できるような表現に整理できるとよい。</p> <p>・内湾は埋立地があり複雑な地形で局所的に高い潮位が算出されているなど、色々な原因があると思われるため、計算結果を再整理できると良い。</p>	<p>(対応方針)</p> <p>・別紙2にて説明。</p>

第2回検討会(R5.3.16)での意見および今後の対応

No	発言者	ご意見	回答・対応方針
5	E委員	・RCP.2.6シナリオの気候変動条件で、台風を中心気圧を算出した場合に935.7hPaとなるが、今回の検討における外力条件を930hPaにしている理由は何か。	(検討会での回答) ・台風の将来予測やシミュレーションの不確実性を考慮して台風の中心気圧を935.7hPaから930hPaに丸めている。 (対応方針) ・930hPaで設定する。
6	F委員	・台風の強大化は海面上昇と比較して予測にばらつきがあり、信頼度も相対的に高くないため、不確実性も考慮して930hPaに丸めている。	

第2回検討会 (R5.3.16) での意見および今後の対応

別紙1

高潮の浸水想定との比較について
 ・平成30年の高潮浸水想定(室戸台風級)では、湾奥部で最大A.P.+7.1mの高潮位を想定。

市区町名	潮位偏差 (m)	高潮位 (A.P.m)
浦安市	3.9	6.1
市川市	4.4	6.6
船橋市	4.6	6.8
習志野市	4.5	6.7
千葉市美浜区	4.5	6.7
千葉市中央区	4.9	7.1
市原市	4.3	6.5
袖ヶ浦市	3.3	5.5
木更津市	3.1	5.3
君津市	2.5	4.7
富津市	2.6	4.6
安房郡鋸南町	1.7	3.8
南房総市	1.7	3.7
館山市	1.6	3.6

※表は市区町別の代表地点での想定値
 (本検討の結果ではありません)



出典: 高潮浸水想定区域図(東京湾沿岸[千葉県区間])、平成30年11月

第2回検討会(R5.3.16)での意見および今後の対応

別紙1

高潮の浸水想定との比較について

- ・高潮浸水想定は想定最大規模(室戸台風級)のため、現計画(伊勢湾台風級)や今回検討(新伊勢湾台風級)の高潮位を上回る。(室戸台風級>新伊勢湾台風級>伊勢湾台風級の順に大きい)
- ・**新伊勢湾台風級の高潮位を踏まえた施設整備**によって、現計画よりも防護水準が向上するため、**室戸台風級への防護効果の向上**(越流の軽減等)も期待できる。

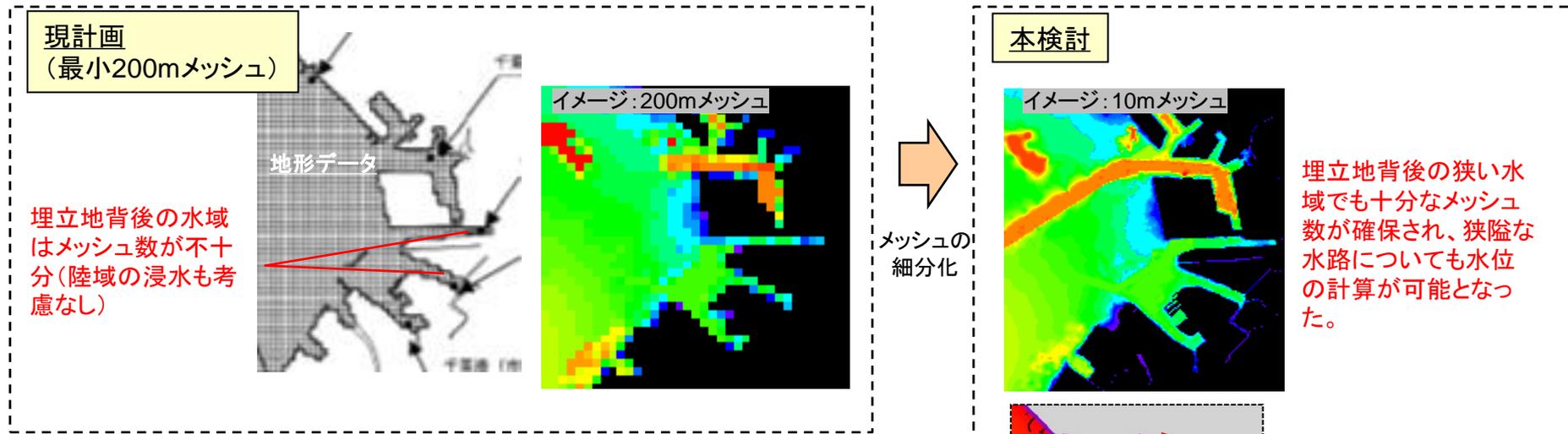
現計画(伊勢湾台風級)①		本検討(新伊勢湾台風級)②		高潮浸水想定(室戸台風級)③		高潮位の比較	
区間	高潮位 (A.P.m)	区間	高潮位 (A.P.m)	最大地点	高潮位 (A.P.m)	①-③ (m)	②-③ (m)
洲崎-大房岬	3.0	洲崎-大房岬	3.4	館山市	3.6	-0.6	-0.2
大房岬-南無谷崎	3.3	大房岬-南無谷崎	3.7	(地点なし)	—	—	—
南無谷崎-湊川	3.0	南無谷崎-保田川	3.5	安房郡鋸南町	3.8	-0.8	-0.3
		保田川-湊川	3.8	(地点なし)	—	—	—
湊川-富津岬	3.2	湊川-富津岬	4.1	(地点なし)	—	—	—
富津岬-小糸川	3.0	富津岬-小糸川	4.2	富津市	4.6	-1.6	-0.4
小糸川-椎津川	4.1	小糸川-椎津川	4.9	袖ヶ浦市	5.5	-1.4	-0.6
椎津川-養老川	4.3	椎津川-養老川	5.4	(地点なし)	—	—	—
養老川-村田川	4.7	養老川-村田川	6.1	市原市	6.5	-1.8	-0.4
村田川-印旛放水路	5.0	村田川-印旛放水路	6.2	千葉県中央区	7.1	-2.1	-0.9
印旛放水路-猫実川 (最奥部)	5.4 (5.7)	印旛放水路-菊田川	6.2	習志野市、千葉県美浜区	6.7	-1.3	-0.5
		菊田川-江戸川放水路	6.4	船橋市	6.8	-1.4	-0.4
		江戸川放水路-猫実川	6.1	浦安市	6.1	-0.7	0.0
猫実川-都県界	5.1	猫実川-都県界	5.6	(地点なし)	—	—	—

第2回検討会 (R5.3.16) での意見および今後の対応

現行と今回の計画高潮位の差について

・今回は気候変動影響に加えて、主に以下①～③を見直したことで、現計画高潮位との差が生じる。

①メッシュサイズの見直し(現計画:最小200mメッシュ、本検討:最小10mメッシュ)



②陸域の浸水計算の見直し

- ・現計画: 海岸線より陸側へ浸水なし
- ・本検討: 防護ラインより前面は陸域(埋立地等)も浸水あり

③風の算定方法の見直し

- ・現計画: 観測値を踏まえた面的な補正值により算定
- ・本検討: 高潮浸水想定と同様の方法(一律の補正值)で算定

